事例No.	2681
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	庄内神楽座長会

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・観光 ・地域運営組織

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

庄内神楽座長会

出典

平成30年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

庄内神楽座長会　大分県由布市

観光振興・交流　その他（伝統文化・芸能）

概　要

五穀豊穣を祈る奉納や大衆の娯楽文化として地域に根差して伝承されてきた庄内神楽を軸に町を盛り上げていこうと、12の神楽座が一丸となり本団体を発足させ、以来、継続して定期公演、神楽祭りを開催し、出張公演や体験教室にも取り組み庄内神楽の伝承と地域活性化に尽力している。

阪神淡路大震災や東日本大震災の慰問公演等も積極的に行う傍ら、ジャズとのコラボレーションや海外公演など新たな挑戦も試みている。



【庄内神楽祭り】

評価された点

・座員は全員本業を持ちつつ、ボランティアで年間150件もの出張公演を行っている。地域への愛着があってこその活動だろう。伝統芸能に西洋音楽を融合させたり、SNSで海外発信をしたり、新しい試みにも挑戦。26年間、一度も途切れることのない継続した取組みである点にも敬意を表したい。
・古くからの伝統芸能であり高齢化が進んでいる者の世代の循環が図られている。また、海外での公演やSNSでの発信により、多くの公演を果たしている。独創的な公演や地域の子どもを巻き込んだ活動など将来も伝統文化として、地域を代表する文化として根強く継承されている点が評価したできる。
・神楽の里としてのイメージが定着するほどまでに浸透してきている。地域のイベントとしても広く受け入れられている。
・単なる伝統芸能の継承ではなく、伝統をベースとした挑戦を通した地域活性化や次世代育成につながる活動として評価。
・文化継承を長く続けていくこと、そして課題は時と共に変化しながら、かつ、深化する両面に取り組んでおられ、高く評価したい。
・神楽によって地域に誇りを持ち、地元に就職する人が増えて継承にもつながっていく人材が育っていることが評価できる。
・伝統芸能を保全と発信両面からとらえ、ジャズとのコラボレーション等、新規性のある取り組みをしている。



【神楽体験教室】



【ジャズと庄内神楽の融合】